

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

君はなぜ勉強するのか？

先生方は教員生活を送られてきた中で生徒から「勉強なんか実社会で役に立たない」「なぜ将来(仕事)につながらない教科を学ぶのか」といった疑問をぶつけられたことはなかったでしょうか。私自身の学生時代を思い返しても、それに近い感情で勉学と接してきた時がありました。

表題の「君はなぜ勉強するのか？」を生徒に問うならば、その解として「人はなぜ勉強すべきなのか？」「勉強している人と勉強していない人について」語れなければなりません。

新入社員時代を経て、企業内で責任ある役職を経験していくうちに、仕事に必要なあらゆる物事が学生時代の教材に散りばめられた粒子の集約で合理的に説明、理解できることに驚かされます。時に、数学的な考察、歴史上の人物の決断、古典漢文で出会った感性と人の道に教えられ、助けられるのです。

太宰治の「正義と微笑」の一節が勉強のすばらしさについて教えてくれています。「日常生活に直接役に立たないような勉強こそ、将来、君たちの人格を完成させるのだ。(略)覚えるということが大事なのではなく、大事なのはカルチベートされるということなんだ。」カルチベートとは「耕す、磨く、高める、洗練する」の意です。

本文の「勉強」という言葉を「仕事」に置き換えてみましょう。今度は経営者が解を提示できなければいけません。先生も経営者も、勉強に終わりはありません。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路検討に当社を加えてください。

新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしく願い申し上げます。

松本 隆一郎